所沢市立美原中学校

学校だより No1

令和３年度　第１号
４月　８日　（木）

学　校　教　育　目　標
・進んで学ぶ生徒（知）
・心豊かな生徒（徳）
・たくましい生徒（体）

美原中と言えば、「はじめに子どもありき」始業式・入学式辞抜粋

学校前のイチョウや欅の木も新緑の若葉が美しい季節になりました。学校のフェンス沿いには、チューリップの花が咲き通学する生徒を癒してくれています。そのような中、ここに第４７回美原中学校入学式が挙行できますこと御礼申し上げます。２３４名の新入生の皆さん美原中学校への入学を心よりお祝いいたします。午前中に始業式を終えた在校生並びに教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。まだコロナの問題が終息しない中での学校生活のスタートですが、このような中でも、昨年とは、異なり始業式・入学式ができることを心から嬉しく思います。進級した２年生 225 名、３年生 215 名の在校生も、皆さんの入学を心から歓迎しています。

現在も新型コロナウイルスが猛威を振るう中での新年度ではありますが、皆さんの中学校生活が充実した３年間になるように、辛抱強く頑張り充実したものにしましょう。

さて今日は、新入生にとってこれから新しい出会いがたくさんあります。中学校生活のスタートに不安を感じている人もいるかもしれません。実は、校長の私もこの４月に着任した校長です。そういう点では、同級生ですね。ですから、そんな期待と不安をもって美原中学校に入学した皆さんに出会いと別れの時にいつも、私が大切にしている考え方を皆さんに紹介します。私の尊敬する教育哲学者の森信三先生の言葉です。これは、他人の「出逢い」のあるべき道理の説明です。「人間は、一生のうち逢うべき人には、必ず逢える。しかも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に。」

これは、「出逢い」の内に秘められた、一見、偶然と見られる事柄も、すべて必然性のはたらきによるということです。好きな人との出逢いも、そうでない人との出逢いも、その「出逢い」のなかで、自分が社会と結びつくための特性を知り、失敗してもくじけず、何度でも何度でも立ち上がり挑んでいくチャンスだと捉えるのが「出逢い」の正しい理解だと言うのです。皆さんのこれからの素晴らしい「出逢い」を応援しています。

最後に、保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。このような制限の多い中、本日の入学式にご参列を賜り、ありがとうございます。依然コロナ流行中の厳しいスタートですが、中学校の三年間は、大変早く、その中で生徒は、心身ともに本当に大きく成長して参ります。しかし、子供の成長のスピードと変化が激しい分、保護者の皆様におかれましても様々なことに葛藤する時期があるはずです。しかし、そのような時期だからこそ、学校と保護者の双方が子どもの真の成長を願う方向が一致し、「信頼」と「尊重」が何より大切かと考えます。そのキーワードが「はじめに子どもありき」です。私は、美原中学校に赴任する前からこの貴重な美原中学校の教育理念を知っていました。一言で申し上げると、どの子どもの心の中に善なるもの（向上心、良心）がある、その理念の実現のため、全教職員が信頼を前提とした教育をする最善の努力をしてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。